

「モダニズム建築の保存」の20年(1988~2007年)

凡例：●=制度等、▼=主な保存運動、○=日本建築学会の保存要望書、□=建築展、+ =取り壊された建築

1988	昭和63	● DOCOMOMO Internatinalが近代建築に関する建物・敷地・環境の資料化と保存のための国際組織として、オランダのアイントホーヘン工科大学のヘンケット教授の発案により発足	
1989	平成元		
1990	平成2	● DOCOMOMO Internatinal第1回総会。以後2年に1回開催され2008年で第10回を数える ○「昭和シェル石油横浜ビルの保存に関する要望書」	
1991	平成3	● BELCA賞が建築・設備維持保全推進協会により創設。ロングライフ部門の対象は竣工後20年以上	↑ 東京厚生年金病院 (山田守/1953) ↑ 東京都庁舎 (丹下健三/1957) ↑ 住利共同住宅 (同潤会/1930)
1992	平成4		
1993	平成5	● 江戸東京たてもの園が開館 ▼ 神奈川県立音楽堂・図書館 (前川國男/1954) → 県が建て替え計画を撤回 ○「旧加能合同銀行 (現北国銀行武蔵辻支店) および中島商店社屋保存に関する要望書」 ○「自由学園明日館の保存に関する要望書」 ○「吉田五十八建築展」(東京藝術大学芸術資料館)	
1994	平成6	○「神奈川県立図書館ならびに音楽堂の保存・活用に関する要望書」	
1995	平成7		↑ 日仏会館 (吉阪隆正ほか/1960)
1996	平成8	● 文化財登録制度が導入され、竣工後50年を経過した建造物が登録有形文化財の資格を得る	↑ 代官山アパートメント (同潤会/1927) ↑ 愛媛県民館 (丹下健三/1954) ↑ 丸ビル (桜井小太郎/1923) ↑ 晴海高層アパート (前川國男/1958)
1997	平成9	● 明治生命館 (岡田信一郎/1934) が昭和期に竣工した建築として初めて重要文化財に指定 ● 自由学園明日館 (FLライト/1921) が重要文化財に指定 ○「丸の内ビルディングの保存に関する要望書」	
1998	平成10	● DOCOMOMO対応ワーキング・グループが日本建築学会の建築歴史・意匠委員会内に発足 ● 旧大分県立図書館 (磯崎新/1966) がアートプラザとして再生 ● 「Casa BRUTUS」定期刊行 (2000年刊行) ● 国立西洋美術館 (ル・コルビュジエ/1959) の免震レトロフィット工事が完成 ○「旧吉田五十八邸の保存に関する要望書」 ○「谷口吉郎展——日本にふさわしい近代建築を目指した建築家」(建築学会ホール、小都市七夕会館他)	↑ 東京宝塚劇場 (石川純一郎/1933) ↑ 大石寺 (横山公男/1964)
1999	平成11	● 20選をDOCOMOMO対応ワーキング・グループが選出 □「村野藤吾建築設計図展」(京都工芸繊維大学美術工芸資料館) 以後、毎年開催され2007年で第9回	↑ 東京市営古石場住宅 (東京市/1923) ↑ 鷺谷アパートメント (同潤会/1929) ↑ 大分県医師会館 (磯崎新/1960) ↑ 竹平アパート (大蔵省/1935) ↑ 中央公論ビル (芦原義信/1957)
2000	平成12	● DOCOMOMO JapanがDOCOMOMO Internatinalに加盟 ● JIA25年賞が日本建築家協会により創設。対象は竣工後25年以上 ▼ 旧歩兵第三聯隊兵舎 (陸軍省/1928) → 一部保存 ▼ 旧東方化学学院/外務省研修所 (内田祥三/1933) → 拓殖大学が取得し、存続 ▼ 長崎市水族館 (武雄雄/1959) → 長崎総合科学大学によって改築・再生 ○「旧下関郵便局電話課事務室の保存活用についての要望書」 ○「同潤会青山アパートメントハウスの保存活用に関する要望書」 ○「そごう百貨店大阪店の保存に関する要望書」 ○「旧歩兵第三聯隊兵舎 (東京大学生産技術研究所・東京大学物性研究所)」の保存再生に関する要望書」 □「文化遺産としてのモダニズム建築展——DOCOMOMO20選」(神奈川県立近代美術館)	
2001	平成13	▼ 大塚女子アパートメント (同潤会/1930) → 2003年、解体 ▼ 豊郷町立豊郷小学校 (W.M.ヴォーリス/1937) → 市民団体が町を提訴。建物は存続 ○「旧同潤会大塚女子アパートメントハウスの保存・再生に関する要望書」 ○「豊郷小学校校舎の保存に関する要望書」 □「文化遺産としてのモダニズム建築展 in Ashiya——関西のモダニズム20選」(芦屋市立美術博物館)	
2002	平成14	○「旧井上房一郎邸の保存に関する要望書」 ○「東京工業大学水力実験室の保存に関する要望書」 □「建築家 林雅子」展 (ヒルサイド・フォーラム、大阪市立住まいのミュージアム)	↑ 清砂通アパートメント (同潤会/1927~29)
2003	平成15	● DOCOMOMO100をDOCOMOMO Japan+DOCOMOMO対応ワーキング・グループが選出 ● 日本建築学会建築博物館が開館 ● 旧大庄村役場 (村野藤吾/1937) が登録有形文化財となる ● 旧千代田生命本社ビル (村野藤吾/1966) が日黒区総合庁舎として再生 ○「国際文化会館の保存活用に関する要望書」	↑ 青山アパートメント (同潤会/1927) ↑ 大塚女子アパートメント (同潤会/1930) ↑ 日活国際会館 (小林利助/1952) ↑ 東京工業大学水力実験室 (谷口吉郎/1932) ↑ 東京急電文化会館 (坂倉準三/1956) ↑ 江戸川アパートメント (同潤会/1934) ↑ エキスポタワー (菊竹清訓/1970) ↑ そごう百貨店大阪本店 (村野藤吾/1935) ↑ 松寿荘 (村野藤吾/1979)
2004	平成16	● 木材産業研究所 (前川國男/1931) が登録有形文化財となる ● 国際文化会館 (前川國男・坂倉準三・吉村順三/1955) → 2006年、保存再生工事終了 □「武田五一・田辺淳吉・藤井厚二——日本を意匠した近代建築家たち」展 (ふくやま美術館) □「2004 吉阪隆正展——頭と手」(日本建築学会建築博物館、京都工芸繊維大学美術工芸資料館、九州大学西新プラザ)	
2005	平成17	● 宇部市渡辺翁記念会館 (村野藤吾/1937) が重要文化財に指定 ● 日本真珠会館 (光安義光/1952) が登録有形文化財となる ● 重要文化財特別型特定街区制度の適用第1号として三井本館修復と日本橋三井タワーが完成。日本建築学会賞(業績)を受賞 ▼ 旧スタンダード石油社宅 (A.レーモンド/1950) → 2006年、解体 ▼ 中銀カプセルタワービル (黒川紀章/1972) → 2007年、管理組合が建て替えを決議 ○「旧土小学校校舎の保存・再生要望書」 ○「東京中央郵便局庁舎・大阪中央郵便局庁舎保存要望書」 ○「三井上高井戸運動場クラブハウスの保存に関する要望書」 □「文化遺産としてのモダニズム建築——DOCOMOMO100選展」(松下電工汐留ミュージアム、大阪市立住まいのミュージアム) □「建築家・今井兼次の世界」展 (多摩美術大学美術館) □「建築家・清家清」展 (日本建築学会建築博物館、松下電工汐留ミュージアム) □「吉村順三建築展」(東京藝術大学大学美術館) □「前川國男建築展」(東京ステーションギャラリー、弘前市博物館、新潟市美術館、福岡市美術館、京都造形芸術大学)	↑ 興羽中学校 (吉阪隆正/1960~63) ↑ 国立国際美術館 (川崎清/1969)
2006	平成18	● 世界平和記念聖堂 (村野藤吾/1954)・広島平和記念資料館 (丹下健三/1955) が、第二次世界大戦後に竣工した建築として初めて重要文化財に指定 ● 旧京都中央電話局西陣分局舎 (岩本祿/1921)・旧日向日家熱海別邸地下室 (B.タウト/1936) が重要文化財に指定 ▼ 東京女子大学東京・体育館 (A.レーモンド/1923・24) → 2007年、東京解体 ▼ 旧宇部銀行本店 (村野藤吾/1939) → 2007年、市が保存活用の意向を打ち出す ▼ 吉田茂邸 (吉田五十八/1961) → 2007年、県が土地を買い取り県立都市公園として整備・保存 ▼ 都城市民会館 (菊竹清訓/1967) → 2007年、南九州大学が取得し存続することで合意 ○「旧西日本シティ銀行大分支店の保存に関する要望書 (九州支部)」 ○「東京中央郵便局庁舎・大阪中央郵便局庁舎の保存要望書」 ○「関東大震災復興事業の記念碑としての元町公園および旧元町小学校の保存に関する要望書 (都市計画委員会、建築歴史・意匠委員会)」 ○「中銀カプセルタワー保存要望書」 ○「昭和モダニズムとバウハウス——建築家土浦亀城を中心に」(江戸東京博物館) □「建築家山田守展——流動するフォルムにみた合理性」(日本建築学会建築博物館、東海大学)	↑ 旧スタンダード石油社宅 (A.レーモンド/1950) ↑ ソニータワー大阪 (黒川紀章/1976)
2007	平成19	● 永代橋 (1926)・清洲橋 (1928)・勝間橋 (1940) が重要文化財に指定 ● 国立西洋美術館 (ル・コルビュジエ/1959) が重要文化財に指定 ● 浦邸 (吉阪隆正/1956) が登録有形文化財となる ● JIA・KIT 建築アーカイブスが日本建築家協会と金沢工業大学により設立 ▼ 学習院大学中央教室 (前川國男/1960) ○「都城市民会館の保存に関する要望書 (九州支部)」 ○「新ダイビルの保存に関する要望書 (近畿支部)」 ○「大阪新歌舞座の保存に関する要望書 (近畿支部)」 ○「ル・コルビュジエ展——建築とアート、その創造と軌跡」(森美術館) □「建築家 今井兼次の世界II——初期作品から航空記念碑まで」展 (多摩美術大学美術館) □「建築と暮らしの手作りモダン——アントニン&ノエミ・レーモンド」展 (神奈川県立近代美術館)	↑ 東京女子大学東京 (A.レーモンド/1923) ↑ 早稲田大学文学部校舎高層棟 (村野藤吾/1962) ↑ 福岡相互銀行銀行大分支店 (磯崎新/1967) ↑ 栃木県議会棟庁舎 (大高正人/1970)

*本年表は本会ホームページ (https://secure1.gakkai-web.net/gakkai/aij_zassi/index.html) に掲載しております。